

再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名 一般国道417号 <small>かんむりやまとうげ</small> 冠山峠道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 近畿地方整備局
起終点 自：岐阜県揖斐郡揖斐川町塚奥山 至：福井県今立郡池田町田代	延長 7.8km	
事業概要 一般国道417号は、岐阜県大垣市より福井県南越前町に至る延長約150kmの幹線道路であり、そのうち、両県境の冠山峠付近は自動車交通不能区間となっている。 冠山峠道路は、一般国道417号の自動車交通不能区間の解消を図るとともに、災害時の交通の確保、災害時の迂回解消等を含む走行時間短縮等を目的に計画された道路である。		
H15年度事業化 都市計画決定		H19年度用地着手
H20年度工事着手		
全体事業費 230億円	事業進捗率 約4%	供用済延長 ー
地域の防災面の課題 ・福井県嶺北南部地域から岐阜県に通じる国道417号は冠山峠付近が自動車交通不能区間であり、代替路となっている林道は幅員狭小で急カーブ・急勾配が連続しており、土砂崩落が多発し冬期は全面通行止め。 ・平成23年1月の豪雪時には、福井県嶺北南部地域と嶺北北部地域を結ぶ国道417号や周辺の国道476号で通行止めが発生するなど地域住民の生活に大きな影響。		
課題を踏まえた対策・事業内容 ・自動車交通不能区間、冬期通行止め区間を解消するとともに、土砂崩落による通行止めを回避する対策としてトンネルを主体とした別線整備で計画。 ・当該区間は急峻な地形で線形不良であるため、現道拡幅等では課題を解消できない。		
事業の効果等 ○災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮等 (245億円(残事業=245億円)) ○災害による被害の回避 ・災害時の集落孤立の危険性低下 ○地域住民の不安感の解消 ・安心感向上(111億円)	費用 (残事業)/(事業全体) 150/167億円 (事業費：142/159億円 維持管理費：7.6/7.6億円)	
関係する地方公共団体等の意見 地域から頂いた主な意見等： ・冠山トンネル(国道417号)早期開通促進期成同盟会(H1.12設立 大垣市長、揖斐川町長)より早期整備の要望を受けている。 岐阜県知事の意見： 対応方針(原案)案のとおり、事業の継続について異存はありません。 なお、今後の事業の実施にあたっては、本県への十分な協議を早期にさせていただくとともに、コスト削減の徹底をお願いします。 福井県知事の意見： 冠山峠道路の対応方針(原案)「事業継続」については異存なし。できる限り早い時期の供用を目指すとともに、一層のコスト削減に努めること。 また、トンネルの整備に当たっては、災害や緊急の際の通信通話環境を確保するため必要な措置を講じること。		
事業評価監視委員会の意見 審議の結果、「国道417号冠山峠道路」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針(原案)のとおり「事業継続」でよいと判断される。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 一般国道417号冠山峠付近は、依然として自動車交通不能区間となっている。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 現在、工事用道路、橋梁下部工事を推進しており、用地取得は約88%完了。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き事業を推進し、早期の供用を目指す。		

施設の構造や工法の変更等

事業実施にあたり、トンネル掘削土運搬計画の見直しや新技術・新工法等の活用により、コスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

- ※1 事業の効果に記載している金額は、防災面の効果を完成後50年間の便益額として現在価値化して算出した値であり、試算値を含む。
- ※2 費用に記載している金額は、現在価値化して算出した値。

再評価結果(平成23年度事業継続箇所)

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名 一般国道417号 <small>かんむりやまとうげ</small> 冠山峠道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 近畿地方整備局
起終点 自：岐阜県揖斐郡揖斐川町塚奥山 至：福井県今立郡池田町田代		延長 7.8km

事業概要図

【位置図】



【概要図】

